

↓大人気のソリすべり



↓初登場した新庄のマスコット「モミじん」



**美浜の冬を楽しむ
第5回美浜冬まつりin新庄**

1月31日に、第5回美浜冬まつりin新庄が渓流の里で行われました。
このイベントは、地域の活性化を図ろうと美浜新庄冬まつり実行委員会が開催したものです。
当日は、BIGソリすべり台や渓流釣り、謎解きウォークラリー等が行われ、参加した親子は、元気に体を動かしながら冬を満喫していました。

↓寸劇で認知症の方への接し方を学ぶ美浜中学生



**認知症の方が安心して暮らせる町を目指して
認知症サポーター養成講座**

1月30日に、中学1年生を対象とした認知症サポーター養成講座が美浜中学校で行われました。
この講座は、認知症に対する理解を深めてもらい、認知症の方や家族を地域で支えていくため、町が実施したものです。
受講した生徒たちは、紙芝居や寸劇、講話等を通じて、認知症の症状や認知症の方への接し方等を学びました。

↓力いっぱいエルゴメーターを漕ぐ子どもたち



**福井国体開催に向けて
福井県マシンローイング大会**

1月31日に、福井県マシンローイング大会が総合体育館で行われました。
この大会は、平成30年開催の福井国体に向け、小中学生のボート競技への関心を高めようと県ボート協会が開催したものです。
当日は約200人が参加し、ボート経験者のアドバイスを受けながらマシンローイングに挑戦していました。

↓鹿肉を炭火で焼いて食べる参加者



**人と山との関わり方を学ぶ
猟師さんと過ごす一日**

2月7日に、第3回猟師さんと過ごす一日が新庄で行われました。
この催しは、猟師の仕事や獣害の利活用等を知ってもらおうと、NPO法人自然とともに生きる会サンガ等が開催したものです。
参加した約35人は、罾の見回りや鹿の解体見学等を通じ、自然との関わり方について考えていました。

↓読み手の声に素早く反応する児童



**集中して札を取り合う
美浜町子ども会かるた大会**

1月24日に、美浜町子ども会かるた大会がはあとびあで行われました。
大会には、町内の各地区から21チーム約80人が参加し、3人1組によるトーナメント戦と初心者の部としてちらし取り方式の試合が行われました。
読み手が上の句を読み上げると、児童たちは素早く目の前の札を取り合っていました。

↓鯖を吟味し意見交換する組合員



**「美浜のへしこ」品質向上に向け
美浜へしこ組合食選会**

1月25日に、美浜へしこ組合による鯖の食選会が千鳥苑で行われました。
この催しは、へしこの品質向上を目的に同組合が行ったものです。
組合員らは、3社の鯖を食べ比べながら、味や値段等について議論し、より安く質の良い鯖を仕入れるため、組合で一括購入する方針を決めました。

↓果敢にゴールを狙う選手



**華麗なボールさばき
第47回町民バスケットボール大会**

1月24日に、町民バスケットボール大会が総合体育館で行われました。
大会には、8チーム、約80人が参加。8分4ピリオドのトーナメント戦が行われ、各チームとも素早いパス回しやドリブルを駆使し、ゴールを奪い合いました。
【大会結果】
優勝 南市 準優勝 新庄B 第3位 新庄A、佐田



**まちウォッチング
atching**

【大会結果（敬称略）】

トーナメント		ちらし取り(子ども会名)	
優勝	荒井A (大野馨大朗・遊津慧音・大野宰佳)	1位	大厩 諒生(けやき台)
準優勝	北地区A (木谷亮太・宮下妃海・志賀充真)	2位	吉井 倫子(けやき台)
3位	久々子A (猿橋茉依・脇田蓮太郎・武田望花) 久々子B (加茂昇悟・柴崎峻佑・小畑由理)	※トーナメント戦の上位4チームは、2月7日開催の嶺南大会に出場しました。	
敢闘賞	啓成A (馬野彩加・松林和奏・四ツ谷玲旺) 北地区B (金森穂花・志賀祐月・森下瑚羽)		

健康・福祉・子育てに関する
情報をお知らせします。



健診受診希望調査に ご協力をお願いします！

■健診受診希望調査とは

健診の申し込みと、受診予定状況の把握を行うための調査です。健診の受診を希望する方は、調査票の受診日と健診項目に○を記入してください。

受診を希望しない場合でも、健診を受診しない理由を記入の上、町健康づくり課に提出してください。

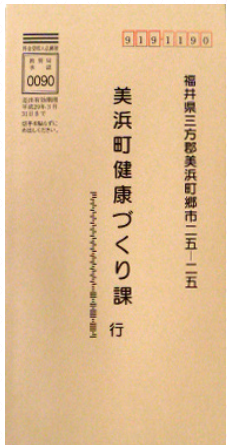
※調査票は2月15日(月)に発送済みです。年に1度は健診を受けて
身体のチェックをしましょう！

■調査対象者と提出方法

対象者	40歳以上の男性
	20～39歳の男性で美浜町国民健康保険加入者
	20歳以上の女性
提出方法	必要事項を記入の上、調査票を返信用封筒に入れて、町健康づくり課まで提出してください。 ※調査票の提出をもって予約となります。

■提出期限 平成28年3月7日(月)

※お問い合わせ先 町健康づくり課(担当・飯田) ☎32-6713



ご存知ですか？町の子育て応援団！

～民生児童委員、主任児童委員、子育てマイスター～

町には、保護者の皆さんが安心して子育てできるように、子育て支援に取り組む方が多くいます。その中には、「民生児童委員」「主任児童委員」「子育てマイスター」の皆さんがおり、健診や子育て支援センターの行事等に協力してもらっています。

民生児童委員は、それぞれの担当地区で生活や



子ども、福祉等に関する相談を受け、行政と地域の皆さんを繋ぐパイプ役として活動しています。

主任児童委員は、子どもについて専門的に担当し、行政機関・団体と協力しながら、民生児童委員とともに活動しています。

子育てマイスターは、保育士や看護師等の資格を持ち、子育てに関する助言や、保護者の悩みや不安についての相談を行っています。

「民生児童委員」「主任児童委員」「子育てマイスター」の皆さんは、子育て支援センターを通じて保護者の皆さんに紹介することもできます。子育ての不安や悩み、地域の分からないこと等がある時には一人で抱え込まず、相談してみてください。

※お問い合わせ先
子育て支援センター(担当・山田) ☎32-0192

インフルエンザ治療

インフルエンザは感染力が強いため、社会的流行が問題になりますが、体内においても、鼻やのどだけにとどまらず、肺や脳へ侵入することがあります。肺炎や脳炎のような重症になると後遺症が残ることもあるため、予防注射が勧められています。

しかし、予防注射をしていてもインフルエンザに感染することはあり、その際には早めに治療することが大切です。

治療に不可欠な「免疫作用」

インフルエンザはウイルスなので、抗生剤を使用しても破壊できません。そこで、日本では、感染したインフルエンザが体内で広がるのを食い止める働き、いわゆる「抗インフルエンザ薬」を使用しています。抗インフルエンザ薬には、飲み薬・吸い込む薬・点滴の3タイプがあり、年齢や状態に合わせて使い分けられています。どの薬剤も、インフルエンザが感染した部位の細胞に作用し、細胞の中にインフルエンザを閉じ込める働きをするものですが、閉じ込めた後は、個人の免疫作用に期待するしかありません。

免疫力を高めるために

免疫作用を強く維持するためには、水分や栄養摂取、安静維持等を行い、免疫が働きやすいような体内状態を整えることが基本です。インフルエンザに限らないことですが、風邪をはじめとする病気の際には、薬を飲めば大丈夫なのではなく、体を休めないといけないということです。皆さん、インフルエンザや風邪等にかかった時は、仕事や勉強等無理をしないようにしましょう。

※お問い合わせ先
東部診療所(村寄医師) ☎37-2911



東部診療所 村寄医師

不妊治療費助成制度が一部変わります

町では、町内に住所を有する夫婦に対し、不妊治療費の一部を助成しています。

平成28年4月から、国の助成制度において、不妊治療の有効性や母子の安全性を考慮した年齢制限が設けられることに準じて、町でも制度内容を一部改正することになりました。変更点は次のとおりです。

<平成28年度からの美浜町不妊治療費助成の変更点>

	新制度	現行
対象治療の医療機関	福井県が指定する医療機関 ※県ホームページ(ホーム > 医療・福祉 > 健康 > 母子保健)をご覧ください	国内の医療機関
対象年齢	助成を受けたい治療の治療開始時における年齢が43歳未満の女性 ※男性には年齢制限はありません	制限なし

※不妊治療費助成の申請を予定する人は、不妊治療を始めた時に、あらかじめ町健康づくり課まで、申請予定であることをご連絡ください。

※治療後は速やかに申請手続きを行ってください。

詳しくは町ホームページ(ホーム > 暮らしの情報 > 妊娠・出産)をご覧ください。

慶弔

1/1～1/31 受付分
(敬称略)

◎ご誕生

氏名	性別	父・母	住所
村山 凛香	女	司・陽子	佐田
田辺 広海	男	幸亮・早苗	早瀬
春名 朔	男	潤・奈々	佐田
石丸 芽優	女	翔一・優紀子	山上
梶原 知里	女	聡志・奈々	日向
久保 陽愛	女	大志・みゆき	興道寺

◎ご結婚

氏名(旧姓)	住所
(松井)良太 & 岸本 理	松原
(山崎)雅幸 & 八木 由起子	郷市

◎おくやみ

氏名	住所	年齢	届出人
李 基洪 (国村幸男)	郷市	90	李 鍾大
田邊 利榮	坂尻	85	和多田 文雄
定友 しづゑ	北田	99	定友 えみ子
渡辺 権一	早瀬	89	渡辺 一之
小橋 政数	佐田	86	小橋 哲雄
松本 千代	菅浜	89	松本 義直
寺本 久子	早瀬	81	高橋 久嗣
松本文夫	河原市	87	松本 芳幸
澤田 はつ江	興道寺	94	澤田 新治
片山 八重乃	日向	93	片山 定良
堀井 カツ子	丹生	91	堀井 善久
奥村 義雄	日向	84	奥村 ひずる
瀬戸 周一	佐柿	78	瀬戸 初美
田邊 健	坂尻	66	田邊 智
田邊 千代子	山上	84	田邊 仁康

わが家のアイドル



山本 哲也さん・侑子さん
(佐田)の長女

楓華 ちゃん (3歳1ヶ月)

最近ハマっているものはプリンセスとキティちゃんです。

いつも妹の華穂とプリンセスごっこをして遊んでいるよ。

4月から行くあおなみ保育園で、たくさん友達ができるとうれしいな。

町人さん

新庄区のマスコットキャラクター「モミじん」の着ぐるみを制作された
(関連記事17頁)

高木 優作 さん (新庄)



*着ぐるみを作ったきっかけを教えてください。

美浜冬まつりin新庄に「紅葉神からの挑戦状」と題したアクションがあり、着ぐるみが登場したら面白くなるだろうと思い作りました。デザインは出来ていたので、約1週間組み立て方を考えた後、約1ヶ月で完成させました。自由に動かすことができる手と、中からの視界窓が特にお気に入りです。

*イベントを終えた感想を教えてください。

開会式と表彰式で、子ども達の前に無事お披露目できたので良かったです。

*今後、モミじんに期待することは？

区内外のさまざまなイベントに登場し、広く親しまれてほしいと思います。

●応募方法

★印のマス内の文字を並べ替えると土地・地区・場所の名称ができます。はがきに、答えと住所、氏名(お便りも大歓迎!)を書いて、「広報みはまハートフルクイズ」係(〒919-1192 美浜町郷市25-25)まで送ってください。

締切りは、3月14日(月)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。

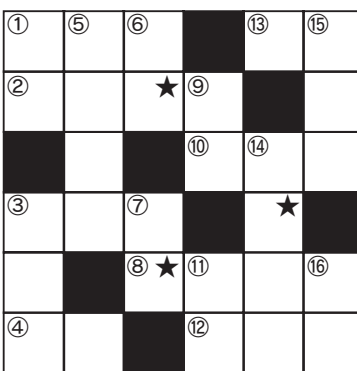
メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。

【メールアドレス】
kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp
【QRコード】



●2月号の答え 宮代
●応募者総数は11人で全員正解でした。当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

みはま・ハートフルクイズ



こたえ ○○○

一よこカギ

- ①不合格の際、再び受ける試験
- ②しっかりとした意見
- ③神社等で催される行事
- ④ピアノ等の、押して音を出す部分
- ⑤煮つめて、照りを出すこと
- ⑥会の進行をすること
- ⑦アメリカ・ハワイ州の第2の島
- ⑧うちやぶること

一たてカギ

- ①アルコール分を含む飲み物
- ②行動等にぬかりがあること
- ③気分が暗く、うっとうしいさま
- ④ライオン
- ⑤油田を掘る装置
- ⑥囲碁や将棋を職業にする人
- ⑦こぶがないラクダ科の家畜
- ⑧相撲に詳しい人
- ⑨太平洋上のアメリカの州。州都ホノルル
- ⑩ため。原因

昔話 ふるさとよま話 (47)

佐柿国吉城今昔物語 (5)
～幕末・明治の佐柿～

寛永十二年(一六三五)、その前に小浜藩主となった酒井忠勝は、廃城にした国吉城跡の南側(現・若狭国吉城歴史資料館)に、佐柿町奉行所(御茶屋敷、一八〇三年に「佐柿陣屋」と改める)を置き、城下町佐柿は、丹後街道の宿場町としてその後の二百数十年間繁栄し、最盛期(十九世紀初)には百二十戸の町屋が並びました。

十九世紀以降、異国船の来航が頻繁になると、幕府や海岸を持つ諸藩は「海防」意識が高まり、各地の海岸や港に台場(砲台)が築かれ、美浜町内にも和田や早瀬に台場が築かれ、一朝有事の際は、佐柿陣屋から出兵することになってい

しかし、ペリー来航とその圧力で幕府が開国に踏み切ると、開国を批判する人々は、天皇を尊び(尊皇)、諸外国を打ち払う(攘夷)「尊皇攘夷」を旗印に、幕府を支持する「佐幕」派と激しく対立するようになり、その動乱に佐柿も関わっていき

元治元年(一八六四)、尊皇攘夷実現のため、常陸国筑波山で拳兵した水戸天狗党(水戸浪士)は、関東を脱して直接朝廷に訴えるため、京都を目指しますが、追撃を受けて越前国敦賀で降伏しました。この時、小浜藩は敦賀包圍の兵の他、佐柿陣屋に後詰の兵を配置していました。幕府に引き渡された後は苛烈な扱いを受け、慶応元年(一八六五)、首領の武田耕雲斎以下三五三名が斬首となり、百三七名は遠島、その他は水戸藩預けや追放の処分が下りました。

遠島の者は、敦賀で謹慎していましたが、翌年沙汰止み(中止)となり、小浜藩に預けられました。藩では、浪士らを藩士同様に扱い(准藩士)、佐柿陣屋の門前に屋敷を新築して移しました(准藩士屋敷)。ここで一年弱過ごし、慶応四年(一八六八)、朝廷より水戸帰藩を命ぜられた。最近、佐柿滞在中に亡くなった浪士三名が徳賞寺に葬られたことが、文献資料から明らかになりました。



↑明治時代にあった佐柿郵便局の消印

同年五月、太政官令で全国の関所が廃止され、佐柿関所も廃されました。

明治の世になり、佐柿が福井県三方郡に定まるまで、県や地方の行政区分は幾度も変わりました。しかし、佐柿が属する地方の役所(区会所、郡役場、連合戸長役場)は、町奉行所に続けて佐柿に置かれました。

また、職業や居住地選択の自由が認められると、新たな生業を求めて佐柿にやってくる人々が増えました。新たな職業や施設も生まれ、小学校や郵便局、警察署等は、三方郡内では佐柿にいち早く置かれました。

(若狭国吉城歴史資料館)

文芸欄

短歌

大空にあかね雲のたな引くを

眺めて宮に初詣でする

亀谷 茂(早瀬)

山の端にかかるあさ霧さし

陽ののぼるらし初日の出待つ

岸本 和子(松原)

ただ一人行く砂浜の一步一步

我みづからのつくりゆく道

濱野 信江(久々子)

「おめでどう」孫等の元氣な声聞きて

我家の正月にわかに華やぐ

松下 幸子(久々子)

一言の少なきわれと多き夫

バランスとりて今年も歩む

川崎 和美(久々子)



■くらしのカレンダー■

平成 28年3月

1 (火)	13:00~心配ごと相談(はあとびあ) 13:30~「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)	17 (木)	9:30~卒業式(美浜西小学校・美浜中央小学校・ 美浜東小学校)
2 (水)		18 (金)	
3 (木)	古紙 (耳地区:河原市・南市・栄区を除く)	19 (土)	第11回全国中学校選抜ボート大会 (県立久々子湖ボートコース)~21日 14:00~ボルタDe' ファツィオリ ちょっと気軽にコンサート 「ファイナルコンサート」(なびあす)
4 (金)			
5 (土)			
6 (日)	9:00~町民卓球大会(総合体育館)	20 (日)	春分の日
7 (月)		21 (月)	振替休日
8 (火)	9:30~保育園開放(あおなみ保育園) 13:00~心配ごと相談(はあとびあ) 14:00~人権を考えるつどい2015 映画「徘徊」(なびあす) 19:00~人権を考えるつどい2015 映画「徘徊」(なびあす)	22 (火)	13:00~心配ごと相談(はあとびあ)
	9 (水)	9:30~保育園開放(せせらぎ保育園) 古紙 (北・南地区)	23 (水)
10 (木)	9:30~保育園開放(みずうみ保育園) 古紙 (河原市・南市・栄区)	24 (木)	13:00~1歳6か月児健診(はあとびあ)
11 (金)	9:30~卒業式(美浜中学校) 10:00~ミニさくらんぼ(なびあす)	25 (金)	9:00~卒園式(みずうみ保育園・せせらぎ保 園・あおなみ保育園)
12 (土)	13:00~新たな出会い応援事業 「メイクアップレッスン」(はあとびあ)	26 (土)	13:30~「美浜を詠う ふるさとを詠う」 短歌コンクール 短歌絶叫コンサート・表彰式・講演会(なびあす)
13 (日)	8:30~ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (~12:00 エコクル美方) 9:00~町民剣道大会(美浜西小学校体育館)	27 (日)	8:30~ごみ(可燃・生・不燃・資源)休日受入 (~12:00 エコクル美方)
14 (月)		28 (月)	
15 (火)	13:00~心配ごと相談(はあとびあ) 13:00~弁護士法律相談(はあとびあ) 13:00~土地建物登記法律相談(はあとびあ) 13:30~「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)	29 (火)	13:00~心配ごと相談(はあとびあ)
		30 (水)	
16 (水)	10:15~さくらんぼひろば「おおきくなったね会」 (子育て支援センター)(関連記事11頁) 13:30~離乳食講習会(はあとびあ) 古紙 (東地区)	31 (木)	
		最新の情報はケーブルテレビの 行政チャンネル(091ch)でご確認ください	

- イベント ● 健康診査・検診 ● 子ども行事 ● ごみ・資源回収
- 行事の予定は、2月17日現在のものです。一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。
- 網かけの日は、役場はお休みです。
- **古紙** は古紙回収日、後に続く()内は回収地区です。 ● 毎週金曜日は **カー・セーブデー** です。
- 休日の当番医に関するお問い合わせ先 町役場 ☎32-1111(代表) 美浜消防署 ☎32-1190

人口の動き

人口総数 前月比
10,016人 (-13)
男 4,883人 (-8)
女 5,133人 (-5)

世帯数
3,750世帯 (-2)
平成28年2月1日現在

▽表紙の写真
せせらぎ保育園とびゅうお組の子どもたちです。

こんにちは
企画政策課です。
久しぶりに大雪が降り、今年暖冬だったことを改めて感じる今日この頃です。日によって寒暖の差が激しく、風邪やインフルエンザも流行していますので、皆さんも健康には気を付けて下さい。
さて、今月号の2頁、7頁では、今後10年間のまちづくりの指針となる「第五次美浜町総合振興計画」についてお知らせしました。物事を進めるには、何事も計画を立て、進捗を確認することが大事です。ほんやり過ぎず、1日が短く感じるのと同じように、10年であっても漠然としながらでは、あつという間に過ぎていくものかもしれません。多くの町民の皆さんに関わっていただきながら、時間をかけて作り上げた本計画。将来あるべき町の姿に向かって、着実に進めていかなければと感じました。(一)